

TTT 方式

FM/FDMA (Frequency Modulation/Frequency Division Multiple Access : 周波数変調/周波数分割多元接続) 方式よりもさらに衛星利用効率の良い TDMA (Time Division Multiple Access : 時分割多元接続) 方式に着目し、1967 年 (昭和 42) より研究を開始した。そして、69 年には TTT (TDMA system with Time preassignment and TASI features) 方式と名付けられた TDMA 方式が開発され、翌 70 年にはこの TTT 方式によるインテルサット III 号衛星を用いた衛星実験に成功した。デジタル衛星通信方式の研究開発が世界的に進められる中、この方式はインテルサットのプロトタイプ TDMA 方式仕様書の基盤として大きく貢献した。

出典 : KDD 社史